

漁海況情報

平成31年4月9日 第1号（通巻648号）

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク】 <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

平成30年度 第2回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報

平成31年3月26日に開催された、第110回対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁況海況予報会議の結果（2019年4月～9月における海況・漁況の見通し）をお知らせします。

* 参画機関：水産庁、西海区水産研究所、（一社）漁業情報サービスセンター、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県

【海況の今後の見通し（2019年4月～9月）】

1 海流

薩南海域における黒潮北縁域は離接岸を繰り返しながら、全般的には「屋久島南付近」で変動する。

2 表層水温

山口県沿岸・沖合、五島灘、天草西沖、西薩・甑沖、薩南沿岸、沖縄島周辺海域、大陸棚上は「平年並み～やや高め」、対馬東水道、壱岐水道、五島西沖、薩南沖合は「やや高め」、黒潮流域は「やや高め～かなり高め」で経過する。

（注）引用符「」で囲んで表した平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

「やや」：約3年に1回程度の出現確率

「平年並み」：約2年に1回程度の出現確率

【漁況の今後の見通し（2019年4月～9月）】

対象海域：東シナ海～日本海西南海域

対象漁業：まき網、定置網、その他

対象魚群：0歳魚（2019年級群（2019年生まれ））、1歳魚（2018年級群）、2歳魚（2017年級群）。魚の大きさは、マアジ・さば類は尾叉長、いわし類は被鱗体長で表示。

1 マアジ

（1）来遊量

・前年並み。沖合域の漁況は前年並みで、沿岸域の漁況は前年・平年並み。

（2）漁期・漁場

・期間を通して、対馬沖、東シナ海中・南部、沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 15～25cmの1歳魚（ゼンゴ・小銘柄）が主に、5～15cmの0歳魚（豆・ゼンゴ銘柄）と25cm以上の2歳魚以上（中・大銘柄）も漁獲される。

2 マサバ

(1) 来遊量

- ・ 前年を下回る。沖合域の漁況は前年を下回り、沿岸域の漁況は前年を下回り、平年並み。

(2) 漁期・漁場

- ・ 期間を通して、対馬沖、東シナ海中・南部、沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 漁期前半は26～31cmの1歳魚（豆・小銘柄）と32cm以上の2歳魚（小・中銘柄）が、漁期後半はさらに15～25cmの0歳魚（豆銘柄）が主に漁獲される。

3 ゴマサバ

(1) 来遊量

- ・ 前年並み。沖合域の漁況は前年並み、沿岸域の漁況は前年・平年を上回る。

(2) 漁期・漁場

- ・ 期間を通して、東シナ海中・南部、鹿児島県の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 沖合域では15～28cmの0歳魚（豆銘柄）と28～32cmの1歳魚（豆・小銘柄）が主に漁獲される。沿岸域では35cm前後の1～3歳魚（小～中銘柄）が主に漁獲される。

4 マイワシ

(1) 来遊量

- ・ 前年・平年を下回る。

(2) 漁期・漁場

- ・ 漁期の後半に長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・ 漁期前半は15～19cmの1歳魚（中羽・大羽銘柄）と2歳魚以上（中羽・大羽銘柄）が主に漁獲される。漁期後半は15cm以下の0歳魚（小羽・中羽銘柄）が主に漁獲される。

5 ウルメイワシ

(1) 来遊量

- ・前年並みで、平年を下回る。

(2) 漁期・漁場

- ・漁期の後半が主体となる。長崎県以南の沿岸域が漁場となる。

(3) 魚体

- ・漁期前半は15cm以上の1・2歳魚（中羽・大羽銘柄）が、漁期後半は5～15cmの0歳魚（小羽・中羽銘柄）が主に漁獲される。

6 カタクチイワシ

(1) 来遊量

- ・前年を上回り、平年並み。

(2) 漁期・漁場

- ・主に5月～8月に沿岸域に漁場ができる。

(3) 魚体

- ・4月は10cm以上の1・2歳魚（大羽銘柄）に3～6cmの0歳魚（カエリ・小羽銘柄）が混じり、5月以降は5～10cmの0・1歳魚（カエリ～大羽銘柄）が主に漁獲される。

(注) 「前年」は2018年4月～9月。「平年」は過去5年の平均値。「並み」はCPUE等指標値の±20%の範囲。沖合域とは大中型まき網が操業する対馬周辺から東シナ海。